シラバス

教科名	情報	学年	１学年

目　標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 １　身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り，問題を解決する方法について理解し，基礎的な技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 ２　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題を知り，問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 ３身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に参画しようとする態度を養う。
学年の目標	コンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。また、身近な事象を情報と結びつけて捉え、問題を解決するために情報と情報技術を活用するとともに情報社会に関わろうとする態度を養う。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 （観点別の目標）	学習内容	評価の観点 （生徒の達成度をA～Dの４段階で総合評価）
４ ５	４	「情報通信ネットワークとデータの活用」 情報機器とデジタル	【知識・技能】 ・情報ネットワークの仕組みや情報セキュリティについての基本的な方法を知る。 【思考力、判断力、表現力】 ・情報システムが提供するサービスの利用について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データの収集、整理し適切な選択肢を選び、実行できる態度を養う。	情報通信ネットワークに使われる情報機器を知り社会が抱える問題について知る。 【高等部１段階】 １身近にある情報機器について ２情報機器の使用方法について ３情報機器の活用方法について ４POSシステムやATMなどについて 【社会：公共施設と制度　数学：金銭】	【知識・技能】 １段階：インターネット決済、クレジットカードの使用など身近な情報システムについて知ることができる。 ２段階：身近な情報機器を操作し、活用することができる。 【思考・判断・表現】 １段階:様々な情報システムが提供するサービスの利用方法を理解することができる。 ２段階：ATMやネット決済などの正しい使用方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 １段階:日常生活の場面に合わせて使用できる情報システムを選択できる。 ２段階：クレジットカードの発行、メンバーズ会員など情報システムを活用するにあたり、必要とされる情報を理解し活用ができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度
６ ７	７	「情報社会の問題解決」 情報モラルと社会のルール	【知識・技能】 ・情報に関する基本的な法規や制度、情報セキュリティ、情報モラルなどについて知る。 【思考力、判断力、表現力】 ・情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近にある情報モラルについて自分と向き合い、行動を見直すことができる。	インターネットの使用方法について【高等部１段階】 １インターネットについての基本的な法規や制度について ２インターネットのトラブルについて ３情報モラルやマナーについて ４ＳＮＳの使用方法について ５ＳＮＳに関わる法規について 【社会：社会参加ときまり　道徳：相互理解、寛容】	【知識・技能】 １段階：情報モラルを意識し、情報機器を利用することができる。 ２段階：法規や制度を理解し、情報機器を利用することができる。 【思考・判断・表現】 １段階：　インターネットの利用を通じて、情報に関するルールやマナーを理解することができる。 ２段階：情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性について理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：情報モラル、マナーを理解し、日常の行動と照らし合わせられる。 ２段階：情報社会において役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。 評価方法：筆記テスト、授業参加状況、授業の姿勢・態度
８ ９	３ ３	「情報社会の問題解決」 問題解決 ［iPad利用］	【知識・技能】 ・iPadの基本的操作方法を習得する。 ・コンピュータ等の情報機器によるネットワークの使用方法について知る。 【思考力、判断力、表現力】 ・情報技術を使い身近にある問題を解決する方法を知り、解決する方法を身に付ける。 ・情報通信ネットワークを活用し自らの問題にを解決しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近にある情報技術を使い、情報社会に関わろうとする態度を養う。 ・情報通信ネットワークを使い、情報社会に関わろうとする態度を養う。	iPadの操作方法【高等部１段階】 １iPadの起動方法の習得 ２iPadの制止方法の習得 ３タブレット端末の操作方法の習得 ４ローマ字、またはフリック入力の基本について ５インターネットへの接続について 【外国語：アルファベット、ローマ字　　国語：読む】 検索エンジンの使用方法と問題解決能力を養う【高等部１段階】 １検索エンジンについて ２ネットワークについて ３検索エンジンの使い方について ４情報社会の問題についての調べ学習 ５問題解決に対する意見の集約とまとめ 【社会：北海道と日本の地理　総合：探求活動】	【知識・技能】 １段階：情報機器の接続や使用方法を理解することができる。 ２段階：ネットワークの役割や使用方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 １段階：検索ブラウザに単語を入れ、検索することができる。 ２段階：検索した情報を保存したり、印刷したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：ICT機器に興味を持ち、積極的に取り組むことができる。 ２段階：ICT機器を通じて、必要な情報を選択しながら情報社会に関わることができる。 評価方法：機器の操作、活用、授業参加状況、授業の姿勢・態度

10	5	「コミュニケーションと情報デザイン」 情報とメディア ［iPad 利用］	【知識・技能】 ・身近なメディアの基本的な特性と特徴について知る。 【思考力、判断力、表現力】 ・身近なメディアとコミュニケーションの手段の関係を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な情報メディアを活用し、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	情報・メディアの特徴と特性を知り、情報の扱い方を確認する。 【高等部１段階】 １情報・メディアとは何かを知る ２身近にあるメディアについて ３情報の信憑性について ４メディアを使用した情報の伝え方のマナーについて ５メディアの効果的なコミュニケーション方法について ６効果的な情報デザインについて 【社会：国や社会の仕組み　数学：表とグラフ】	【知識・技能】 １段階：各メディアの特性や特徴を知ることができる。 ２段階：情報の伝達、記録、保存を通じて、メディア媒体について理解することができる。 【思考・判断・表現】 １段階：メディアで得た情報を周囲に伝えることができる。 ２段階：情報を得るための方法を考え、調べたことを周囲に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：身近にあるメディアを扱うことができる。 ２段階：身近にあるメディアの活用方法を理解し、使用できる。 評価方法：機器の操作、活用、授業参加状況、授業の姿勢・態度
11 12	7	「コミュニケーションと情報デザイン」 ワープロソフトの利用 ［iPad 利用］	【知識・技能】 ・身近で使われているソフトの操作方法を知る。 【思考力、判断力、表現力】 ・ワープロソフトを使い情報デザインを意識した表現方法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報デザインを意識したレイアウトを考える。	文章ソフトとプレゼンテーションソフトの基本的な使用方法を知る。【高等部１段階】 １ワープロソフトの起動と制止の方法について ２ワープロソフトの基本操作の習得 ３調べ学習を文章ソフトでまとめる ４プレゼンテーションソフトの起動と制止方法の方法を知る ５プレゼンテーションソフトの基本操作の習得 ６調べ学習についてプレゼンテーションソフトを用いてまとめる 【総合：発表　美術：デザイン】	【知識・技能】 １段階：各ソフトウェアの起動、保存方法が理解できる。 ２段階：キーボードで文字を打ち、文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 １段階：見本を見て、図や画像の挿入を行うことができる。 ２段階：調べたことを図や画像を挿入しながらまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：配色や文字の色などを操作してデザインを考えることができる。 ２段階：文字や図を用いて、プレゼンテーション形式にまとめることができる。 評価方法：実技の取り組み、授業参加状況、授業の姿勢・態度
1	2	「情報通信ネットワークとデータの活用」 データの活用 ［iPad 利用］	【知識・技能】 ・身近なデータを扱う情報システムの提供に関する基本的な仕組みと特徴をについて知る。 【思考力、判断力、表現力】 ・情報システムが提供するサービスの利用について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データを活用した情報ネットワークを適切に利用する態度を養う。	表計算ソフトを用いて、データを活用した情報システムの適切な利用方法を知る。 【高等部１段階】 １データを活用する方法について ２問題を解決するためのデータ収集について ３収集したデータの活用方法について ４データを表やグラフに表す方法と意味について ５データの扱い方と注意点 【数学：表とグラフ　家庭科：経済生活を営む】	【知識・技能】 １段階：表計算ソフトに見本通り数字を入力することができる。 ２段階：入力したデータに、合計などの数式を指定し表計算ができる。 【思考・判断・表現】 １段階：見本を見てデータをグラフで表現できる。 ２段階:データの種類に応じたグラフを指定し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：教師の支援を受けながら、主体的にデータを入力したりグラフを活用したりすることができる。 ２段階：社会生活で必要なデータの活用について調べたり、活用したりする方法を自ら考えることができる。 評価方法：評価方法：実技の取り組み、授業参加状況、授業の姿勢・態度
2 3	4	「コミュニケーションと情報デザイン」 画像の表現 ［iPad 利用］	【知識・技能】 ・情報デザインの基本的な考え方と表現する技法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 ・目的に応じた情報デザインを考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な表現方法を考え、表現することができる。	情報デザインの知識を基に様々な技法を用いて表現する。 【高等部１段階】 １画像に関する基本的な知識の習得 ２データを扱う際の注意点について ３写真や画像の取得方法について ４写真や画像の加工方法について ５情報社会に求められる表現方法について 【美術：写真　社会：産業と生活】	【知識・技能】 １段階：見本を見て編集方法を確認し、画像を編集することができる。 ２段階：素材に合った加工方法を選択し、編集ができる。 【思考・判断・表現】 １段階：使用する画像の色やデザインを選択肢から選び、加工することができる。 ２段階：編集する画像に文字やイラストを追加し、デザインを考えて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 １段階：選択肢から表現方法を考え、画像を編集することができる。 ２段階：様々な表現方法を考えて画像を編集することができる。 評価方法：評価方法：実技の取り組み、授業参加状況、授業の姿勢・態度